

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3303		
科目名	タレントの発掘と育成		
担当教員	森丘 保典		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 3		
講義室	1310	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E（学識・専門技能）専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP5-J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識・専門技能（60%） F1 探求力・課題解決力（20%） J2 創造的挑戦力・達成力（20%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	本講義では、競技スポーツにおけるタレント（才能）の考え方や育成プログラムのあり方についての基礎を学習します。具体的には、発育発達学の基礎を踏まえながら、ジュニア期の競技者を取りまく現状・課題や育成・強化のあるべき方向性、さらには国内外の競技者育成モデルなどを理解することを通して、現代のタレント発掘・育成に関わる諸問題について資料・視聴覚教材等を用いて学習します。授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 発育・発達・早期専門化・相対年齢効果		
授業の趣旨	■副題 中長期的な視点での競技者育成・強化の重要性 ■授業の目的 発育発達学の基礎、ジュニア期の競技者を取りまく現状・課題、国内外の競技者育成モデルなどについての理解を深めることにより、競技スポーツにおける競技者育成・強化のあり方を俯瞰的・総合的にみる視点をもつとともに、自身の（セルフ）コーチング活動の最適化に向けた諸方策を導き出していく反省的実践家としての能力を涵養することを目的とします。 ■授業のポイント 本講義では、発育発達（学）や国内外のタレント発掘・育成に関する取り組みを理解することによって、ジュニア競技者の育成・強化（コーチング）の本質を理解し、現状の常識にとられない創造的なコーチングを構築できる能力を養成します。		
総合到達目標	■幼少年期からの発育・発達の特徴や国内外のタレント発掘・育成に関する取り組み等について学ぶことを通して、現在のジュニア競技者の育成・強化のあり方を批判的に検証し、今後の望ましい方向性について展望できる。 ・幼少年期からの発育・発達における身体的・心理的特徴について説明できる。（第2～7回） ・国内外のタレント発掘・育成に関する研究および実践の具体的な内容や方法の特徴や影響について説明できる。（第8～12回） ・学習した内容や自身の体験・経験を踏まえて、望ましい競技者育成の在り方や方向性について実践的に考察できる。（第13～15回）		
成績評価方法	■リアクションペーパー13回（50%）：適用ルーブリック E1、F1 （評価の観点）授業の内容を理解たうえで、自身の体験・経験と関連付けながら自分の考えについて記述できているかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に優れたリアクションペーパーの内容紹介と解説を行います。 ■レポート1回（50%）：適用ルーブリック E1、F1、J2 （評価の観点）当該単元全体の理解度を測ります。 （フィードバック方法）授業時間中に優れたレポートの内容紹介と解説を行います。		
履修条件			
履修上の注意点	特にありません。		
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要	

	本科目の概要、授業の進め方と評価および受講上の留意点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、図書館等にある参考書等を活用して授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、授業の全体像や評価等、自分の学修計画などについて確認する。
2	①授業テーマ 発育・発達とは ②授業概要 発育・発達という概念や原則、歴年齢と生物学的年齢などについての学識を深めるとともに（E1）、自身の発育・発達歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育と発達の違いや、に関する要点について整理する。
3	①授業テーマ 発育発達期の身体的特徴① ②授業概要 発育発達期の身体的特徴（身長や骨格など）についての学識を深めるとともに（E1）、自身の発育・発達歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育・発達という概念や原則に関する要点について整理する。
4	①授業テーマ 発育発達期の身体的特徴② ②授業概要 発育発達期の身体的特徴（神経系や神経筋コントロールなど）についての学識を深めるとともに（E1）、自身の発育・発達歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育発達期の身体的特徴（身長や骨格など）に関する要点について整理する。
5	①授業テーマ 発育発達期の身体的特徴③ ②授業概要 発育発達期の身体的特徴（筋と筋力、最大酸素摂取量の発達）についての学識を深めるとともに（E1）、自身の発育・発達歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育発達期の身体的特徴（筋と筋力、最大酸素摂取量の発達）に関する要点について整理する。
6	①授業テーマ 発育発達期の運動（動作）の発達 ②授業概要 発育発達期の運動（動作）の発達（走る、跳ぶ、投げるなど）についての学識を深めるとともに（E1）、自身の発育・発達歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育発達期の運動（動作）の発達（走る、跳ぶ、投げるなど）に関する要点について整理する。
7	①授業テーマ 発育発達に関するまとめ（前半授業の振り返り） ②授業概要 本授業前半の学習内容のポイントについて振り返るとともに（E1）、自身の発育・発達歴と関連づけて要点について整理できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 前半の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育発達期の身体的特徴に関する要点について整理する。
8	①授業テーマ 発育発達期に推奨される運動・スポーツ活動について① ②授業概要 国内外から発出されている発育発達期の運動・スポーツ活動の指針（ガイドライン）等についての学識を深めるとともに（E1）、自身の運動・スポーツ歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育発達期に推奨される運動・スポーツ活動に関する要点について整理する。
9	①授業テーマ 発育発達期に推奨される運動・スポーツ活動について② ②授業概要 国内外で推奨されている発育発達期の運動・スポーツ活動プログラムについての学識を深めるとともに（E1）、自身の運動・スポーツ歴と関連づけて要点を述べるようになる（F1）。 ③予習（120分）

	参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育発達期の運動・スポーツ活動プログラムに関する要点について整理する。
10	①授業テーマ タレントの発掘・育成とは ②授業概要 タレント発掘・育成の背景にある理論（考え方）についての学識を深めるとともに（E1）、自身の運動・スポーツ歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、タレント発掘・育成の背景にある理論の要点について整理する。
11	①授業テーマ タレントの発掘・育成の取り組みについて ②授業概要 国内外のタレント発掘・育成に関する取り組みについての学識を深めるとともに（E1）、自身の運動・スポーツ歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、タレント発掘・育成に関する取り組みに関する要点について整理する。
12	①授業テーマ 望ましいジュニア競技者の育成・強化のあり方について① ②授業概要 国内外から発出されているジュニア期の競技者育成モデルについての学識を深めるとともに（E1）、自身の運動・スポーツ歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、ジュニア期の競技者育成モデルに関する要点について整理する。
13	①授業テーマ 望ましいジュニア競技者の育成・強化のあり方について② ②授業概要 国内外から実践されているジュニア期の競技者育成プログラムについての学識を深めるとともに（E1）、自身の運動・スポーツ歴と関連づけて要点について説明できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 参考図書の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、に関する要点について整理する。
14	①授業テーマ タレント発掘・育成に関するまとめ（後半授業の振り返り） ②授業概要 本授業後半の学習内容のポイントについて振り返るとともに（E1）、自身の発育・発達歴と関連づけて要点について整理できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 後半の授業テーマに該当する部分を一読し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 講義資料（動画）を確認し、発育発達期に推奨される運動・スポーツ活動に関する要点について整理する。
15	①授業テーマ 本授業のまとめ（授業全体の振り返り） ②授業概要 これまでの学習内容のポイントについて振り返るとともに（E1）、自身の今後の運動・スポーツ実践やコーチング活動と関連づけて要点について整理できるようになる（F1）。 ③予習（120分） 前回までの授業資料（動画）を再読し、各回のテーマについての自身の考えや疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 授業の内容を振り返りながら、今後の自身の学修および実践の方向性について検討する。
関連科目	コーチング学原論（SSCS1306）、コーチング学研究法演習（SSCS2317）
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	日本スポーツ協会スポーツ指導者講習会テキスト（Reference Book） JSPO-ACP・アクティブチャイルドプログラム（https://www.japan-sports.or.jp/portals/0/acp/index.html） 日本陸上競技連盟・競技者育成プログラム（https://www.jaaf.or.jp/development/program/）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜3限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとればラーニングセンター等で対応します。
研究比率	